

日本原水協FAXニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 2011年
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com 5月31日

北海道
七飯町

町長先頭に署名行動。断る人なし!



▲新署名チラシを抱えて署名行動に加わる中宮町長（左から2人目）

原水爆禁止七飯地区協議会（七飯原水協）は5月29日、七飯町内のスーパー「魚長」前で、核兵器全面禁止署名行動を行い、初めて町長夫妻が参加しました。

3月22日の中宮安一七飯町長との懇談で、町長が快く署名に賛同し、スーパーの前で署名するなら協力すると発言。4月15日には「核兵器のない世界は、世界で唯一の被爆国である日本が最も望むべきことであり、将来を担う子供たちへの最善の贈り物であると確信します。ともに手を携え頑張りましょう!」とアピールを出しています。

宣伝行動の中でマイクを握った中宮町長は、「私もしっかり署名させていただきました。今日は町民の皆さんに直接声をかける、強い気持ちで参加しています。目標は1万5千人、町民の過半数と聞いています。町民の皆さん、一人ひとり署名して下さい。この署名運動をしっかりやっていくことが、被爆国日本としての大きな責任だと思います。一人ひとりの力が、日本を動かし、世界を動かします。署名に託して下さい」と力強く訴えました。また、署名した人に著名人の顔入りチラシを渡し、直接声をかけていました。

小雨降る寒い中でしたが、七飯町老人クラブ連合会会長北見辰雄さんを含む参加者30人が七飯町民に署名の協力を呼びかけました。駐車場の車の中の方にも丁寧に声をかけました。「今、仕事が終わったばかりです」とスーパーの職員の方も署名しました。女子中学生が母親と一緒に仲良く署名する姿もありました。

買い物の行き帰りに足を止め寄せられた署名は、86名分です。北海道新聞・函館新聞が取材にきました。

(北海道原水協事務局長・嶋田千津子)